

J-SLA ニュースレター 2018 年 9 月号

(The English version is placed after the Japanese version.)

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
学会誌への投稿、お待ちしております。

<今号の内容>

1. 学会誌 *Second Language* 論文募集
 2. 2018 年度 J-SLA 秋の研修会
 3. 2018 年度第二回総会開催
 4. 学会誌 *Second Language* への J-STAGE を通したアクセス状況
 5. ウェブページへの情報掲載について
-

1. *Second Language* 論文募集

今年度の投稿締切は、9 月 30 日です。

Second Language は日本第二言語習得学会 (J-SLA) の学会誌で、年に 1 回発行されています。J-SLA の会員のみが論文を投稿できます。詳しい情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。<http://www.j-sla.org/journal/>

2. 2018 年度 J-SLA 秋の研修会

日時： 2018 年 10 月 28 日(日) 10:40-17:30

会場： 同志社大学烏丸キャンパス 志高館 110 番教室 (<https://bit.ly/2Ln06lU>)

アクセス <https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/karasuma.html>

地下鉄烏丸線 今出川駅下車、1 番出口を出て烏丸通を北上。徒歩 5 分

テーマ：“The acquisition of articles (DPs)” (英語の冠詞の習得)

受付 10:30～

10:40-11:40 The acquisition of articles (DPs): The story so far

スネイプ ニール (群馬県立女子大学)

11:50-12:50 (Bare) plural DPs and L2 acquisition: From generics to mass/count
distinction and plurality

Kook-Hee Gil (シェフィールド大学)

12:50-13:50 休憩

13:50-14:10 総会

14:10-14:50 The count-mass distinction and English articles

小川睦美 (日本大学)

14:50 –15:30 Accounting for article interpretation in L2 English by L1 Japanese adult and child learners

山田一美（関西学院大学）

15:30 –16:10 Articles, telicity, and lexical transfer

若林茂則・木村崇是（中央大学）

16:20–17:30 ラウンドテーブルパネルディスカッション（発表者全員）

使用言語：英語

参加費：1,000 円（会員・非会員、学生・一般すべて共通）

＜お問い合わせ先＞

J-SLA 事務局 若林 茂則

swkbys37[at]tamacc.chuo-u.ac.jp（[] を外してお送りください。）

＜秋の研修会のオーガナイザーからのメッセージ＞

今年は記録的な猛暑と記録的な数の台風上陸でした。10 月に入ったら、少しは天候も落ち着いてくれるかもしれません。秋の研修会にご参加いただき、京都で少し涼んでいただくのはいかがでしょうか。秋の京都は魅力的です。さらに、今年は特別。J-SLA 秋の研修会で、Kook-Hee Gil, Neal Snape, Kazumi Yamada, Mutsumi Ogawa, Shigenori Wakabayashi and Takayuki Kimura のトークを聞きましょう。きっと新たな視点が見えてきます。トピックは冠詞（名詞句）の習得。この分野を専門にしていられっらない方には最新の研究に追いつくチャンスです。（翻訳担当は事務局）

3. 2018 年度第二回総会開催

2018 年 10 月 28 日(日) 13:50-14:10 に、2018 年度 J-SLA 秋の研修会の会場で、2018 年度第二回総会を開催いたします。2017 年度会計監査報告、2019 年度行事予定の決定などが行われます。積極的なご参加をお願いいたします。

4. 学会誌 *Second Language* への J-STAGE を通したアクセス状況

学会誌 *Second Language* は、J-STAGE を通して、ウェブ上で公開されています。

★2018 年 7 月論文別アクセス数トップ 5

順位	論文タイトル	巻, 開始頁
1	言語習得の臨界期について	3, 3
2	言語理論と教室第二言語習得研究	16, 39
3	語彙の即時的運用能力	16, 5
4	第二言語のテキスト理解要因としての背景知識と語彙知識	4, 51
	日本語話者の第二言語としての英語における主語と目的語の非対称性	2, 53

★2018 年 7 月国・地域別アクセス数ランキング

順位	国・地域	書誌事項	全文 PDF
1	日本	305	166
2	北アメリカ(アメリカなど)	49	12
3	東アジア(中国など、日本含まず)	28	16
4	南アジア (インド)	3	9
5	西ヨーロッパ (イギリスなど)	3	6
	その他 (タイ、デンマーク、チェコ、イスラエル)	2	8
	合計	390	218

担当者の分析とメッセージ

<分析>

- 論文アクセスランキングは、3 位以下が前回から入れ替わった。トピックは多岐にわたる。
- 書誌事項へのアクセス数が、340（6 月）から 390（7 月）へと更に伸びている。
- インドやタイ、チェコ、イスラエルなどからのアクセスが目新しい。

<メッセージ>

J-STAGE で公開されている *Second Language* 掲載論文を文献研究・先行研究の確認に、より一層ご活用ください。

5. ウェブページへの情報掲載について

他学会情報や求人情報を、学会ウェブページに掲載しております。
他学会や求人に関することなど、第二言語習得研究者にとって有益と思われる情報について、積極的に掲載したいと思いますので、事務局まで情報をお寄せください。た

だし、本学会の趣旨並びに広報委員会の基準に照らし合わせて掲載不可となる場合がありますので、ご了承ください。

現在、掲載中の情報（抜粋）

【教員公募】

兵庫県立大学環境人間学部 専任教員公募

【他学会の情報（2018 年内に発表申込締切のもの。他の学会情報は J-SLA のウェブページをご覧ください。）】

・ 2019 年 3 月 22-24 日 University of Nevada Reno アメリカ

【発表申込締切：2018 年 11 月 2 日】

XV Generative Approaches to Second Language Acquisition Conference

・ 2019 年 6 月 23-28 日カナダ【発表申込締切：2018 年 10 月 15 日】

International Symposium on Bilingualism 12 (ISB12)

・ 2019 年 6 月 17-19 日フィンランド【発表申込締切：2018 年 11 月 5 日】

Thinking, Doing, Learning: Usage based perspectives on second language learning (TDL4)

【その他】

・ パデュー大学大学院生募集

・ 国立国語研究所：平成 30 年度公募型研究募集

Second Language の締め切りが間近になりました。ご投稿をお待ちしております。秋の研修会も、今年からテーマを定めて行うこととなりました。鋭い質問・コメント、激しい議論、大歓迎いたします。どうぞ宜しくお願い致します

ニューズレター及び J-SLA に関する問合せ：若林茂則<swkbys37[@]tamacc.chuo-u.ac.jp>